

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

よこはま地域福祉研究センター

② 施設・事業所情報

名称：丸山台保育園	種別：児童分野 認可保育所
代表者氏名：園長 梅本香	定員（利用人数）： 100 名
所在地：〒233-0013 横浜市港南区丸山台3-16-1	
TEL：. 045-843-7965	ホームページ： https://shirayuri-maruyamadai.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2004年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 白百合会	
職員数	常勤職員： 22 名 非常勤職員 22 名
専門職員	園長 1 名 保育士 32 名
	看護師 1 名 栄養士 1 名
	調理員 5 名 事務員 1 名
	保育補助 3 名
施設・設備の概要	(居室数) 7 (設備等) 保育室・事務所・調理室・調乳室・更衣室・休憩室・倉庫・プール

③理念・基本方針

保育の基本理念

1. 子どもの最善の利益を求める「子どもの権利条約」を遵守し、児童憲章、児童福祉法を守り、発展させる。
2. 保育を必要とする乳児・幼児を養護・教育し、すべての子どもの発展を保証する。
3. 地域社会で子どもの育ちを最優先する立場から、施設開放、子育て中の育児不安当の相談など保育所を地域社会の有用な社会資源として活用を図る。
4. 激しく変化する社会の中で保育に対するニーズは、複雑化し更に多様化しつつある。このニーズに答えていくことのできる広い社会的視野にたち、たえず保育内容の改善をすすめる。

保育方針

1. 子どもたちが、心身ともに健やかに成長・発達できる保育内容、良好な環境を保障する。
2. 保護者の方々が、安心して働き続けることができる保育環境を整える。
3. 保護者と手を取り合って子育てをし、その成長の喜びを共感できる関係を築く。

④施設・事業所の特徴的な取組

横浜市立保育園として開園され、平成16年4月、横浜市立保育園の民営化初年度より、当法人で運営しています。
近隣には公園も多く、自然環境に恵まれており、戸外活動などで四季を楽しみながら、実体験を通して感性と五感を育むこと、また、心と身体をたくましく育てていくことを大切にしています。

異年齢活動や食育、他園や小学校との交流など地域育児支援にも力を入れています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月28日（契約日） ～ 2022年12月5日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（ 2017年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

【特長】

◆子どもたちは保育士に寄り添われ、受け止められてのびのびと園生活を楽しんでいきます

乳児クラスでは家庭で過ごす時間も含めた1日の生活を大事にその子どもにあった生活リズムで過ごすことを大切にしています。保育士は子どもに寄り添い、よく観察して、子どもの表情やしぐさ、言葉などから子どもの気持ちを汲み取り、言葉にして返し子どもの気持ちに答えています。幼児になると、まず自分で感じ、自分から伝えられるよう、先回りして声を掛けるのではなく、見守り、保育士は子どもの言葉を待っています。保育士はどんな時も笑顔で穏やかに語り掛け、子どもを注意する時や間違いをただす場合もまず、子どもの気持ちを受け止め、それからそれぞれの子どもにあった声掛けをしています。大事にされているのが伝わるので、子どもたちは「間違っても大丈夫」と安心して挑戦したり、自分の心に素直に喜んだり怒ったりしながら、友だち関係を育み、のびのびと園生活を楽しんでいきます。

◆職員は子どもの様子やクラス運営について常に話し、方向性を共有し、連携して保育にあたっています

保育士はクラス会議、乳児・幼児会議、カリキュラム会議、職員会議などで子どもの様子を共有し、お互いのクラスの指導計画についても意見を出し合っています。園長は保育理念や方針、目標がどう反映されているのか常に問いかけ、園全体で同じ方向性をもって保育にあたっています。毎日昼におこなわれるミーティングでは翌日の給食のアレルギー児の対応やその日の子どもの様子だけでなく、夕方の職員体制などについてもクラスから発信があり、みんなで話し、応援体制を決めています。その他日常の保育の中でもコミュニケーションを密に取っている姿が訪問日の観察でも見受けられ、円滑なクラス運営や他クラスの職員との連携の良さにつながっている様子がわかりました。子どもたちは安心して園生活を送ることができています。

【今後期待される点】

◆将来を見据えた取組が望まれます

職員の定着率が高く、現在は経験豊かな職員による安定した保育がおこなわれていますが、3年後、5年後のあるべき姿を見据えた、園としての中長期計画や人材育成の取組を明示したものがありません。勤務条件の異なる職員を含む全職員の保育の質の向上に向けた研修計画の策定や「保育実施要領」の見直しが望まれます。また、人材確保、次世代の育成、園舎の修繕など、現在課題と感じている事に対して、具体的な取組を進めるために職員も参画して話し合うなどの仕組み作りを構築し、将来のために取り組んでいくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

園（法人）として大切にしている、子ども主体の丁寧な保育、保育の振り返りなどは評価していただいたと思います。とても励みになりました。

丸山台保育園は多様な勤務形態の職員が多く、全職員での周知、共有というところが課題であることは理解しているところではありました。全職員が分かり易い仕組みづくりを検討し、作成していきたいと思います。また、評価Cになった研修計画については、積極的に学ぶ機会を意識し、具体的にすすめているもののきちんと書式化ができていなかったところがありました。

今回の結果を受け、現状を客観視し、課題点を整理することができたことで、より具体的に改善方法を検討するととても良い機会になりました。早急に整理し、整えていけるように努力したいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり